

はらむら 議会だより

第128号

平成29年2月10日発行
編集／議会広報編集委員会
発行／原村議会
☎ 391-0192
TEL 0266-79-2111
FAX 0266-79-7951
HP <https://www.vill.hara.nagano.jp>
村議会をクリック



原小学校 校庭リンク ～晴れわたる空のもと、戸田小との交流～

12月
定例会

平成13年設立 有限会社縦の木の清算、 縦の木荘建設見直しによる耐震診断の実施

平成28年12月定例会は、12月5日から14日まで、10日間の会期で開催されました。

9名の一般質問、一般会計補正予算など、村長提出議案18件、委員会提出議案3件、陳情3件を審議しました。



もくじ	● 定例会・表決結果	2
	● 常任委員会報告	3
	● 一般質問	4
	● 中学生議会	9
	● 開かれた議会にむけて	10

総務 産業

(有)縦の木の清算負担金 **913万7千円**

条例3件、補正予算1件、陳情1件を審査。

委員長 小池和男

議案の審査

◎原村条例の一部を改正する条例

・日本と台湾の民間レベルで、二重課税の回避や脱税防止など、租税条約に相当する内容を盛り込んだ「日台民間租税取決め」の署名が行われ、これを日本国内で有効にするための国内法が整備された。

可決

◎原村国民健康保険条例の一部を改正する条例

・原村条例の一部を改正する条例の改正理由と同内容。

可決

(3)

◎原村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定め

る条例

・農業委員11名、農地利用最適化委員4名。

可決

反対討論

・国の改正に反対の立場から反対。

賛成討論

・農地の有効利用につながる改正。

◎一般会計補正予算(第6号)

・歳入歳出それぞれ2千24万6千円を追加し、総額を45億6千177万2千円とする。

総務課

・地域おこし協力隊員1人増。

・衛星系行政無線設備

更新に伴う負担金。

住民財務課

・災害復興特別交付金

の精算金。

商工観光課

・縦の木耐震診断委託料735万円。

・(有)縦の木の清算負担金913万7千円。

可決

陳情の審査

◎地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める陳情書

採択

事務調査

・三ヶ村汐弓振川サイフォン補修箇所。

・農道舗装箇所 菖蒲沢1号、中新田1号

・青年就農給付金受給者のハウス1件。

・もみの湯 ボイラー取替箇所。

・起業チャレンジ補助

金交付先3件。

社会 文教

奨学金給付制度を新設

補正予算2件、条例2件、陳情2件を審査。

委員長 芳澤清人

議案の審査

◎原村奨学金条例

・修学が困難な者に対し村が奨学金を支給するもの。

可決

◎原村環境保全条例の一部を改正する条例

・開発行為に再生エネルギー発電設備を加えるもの。

可決

◎28年度原村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

・特別調整交付金の増額、直営診療施設整備事業の繰出し金。

可決

◎28年度原村国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第1号)

直営診療施設整備事業の繰入金による前年度繰越金の減額。

可決

陳情の審査

◎介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める意見書の提出を求める陳情

・介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討の中止、制度の充実・改善を要望するもの。

採択

◎次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書の提出を求める陳情

・次期介護保険制度改正における福祉用具・住宅改修の見直しにおいて保険給付の対象と

して継続し、介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うよう要望するもの。

採択

事務調査

・弓振川3号橋付近の視察

・護岸付近の状態を確認した。

・原村保育園の視察

・保育園で元気に活動している園児達や保育士の普段の姿を確認した。

・原村保健センター「そよかぜ」西の新設駐車場

約20台分の駐車スペースが新設された。

一般質問 村政を問う



芳澤 清人

6市町村合併についての 見解は

答 従来の方針で 行政を運営していく

〔質問〕6市町村合併に

ついて、村長の見解は。

〔村長〕原村は合併せずに独自の道を行くというところでずっと進んできており、従来の方針で行政を運営して行くと考えている。

〔質問〕諏訪広域連合の意義、位置付けについての考えは。

〔村長〕広域消防の一本化を含め、非常に密で重要な機能を担ってきている。現在の広域連合は、相当なところまで対応できるのではないかと理解している。問題があればその都度の対応で問題を解決できると理解している。

〔質問〕村内への県外小・中・高校生の農業

体験の現状は。

〔村長〕八ヶ岳実践大学校にお願いをしている。今年度は150校1万6千人と聞いている。一般では20件程あったと報告を受けている。

〔質問〕県外の小・中・高校生の農業体験をメニューとした誘客事業を考えたかどうか。

〔村長〕エコツーリズムを含め新しい動きが出てきている。

大きなテーマとして農業体験が一つの観光資源としてなっていくのではと理解している。今後の検討課題として進めて行きたい。

〔質問〕縦の木荘の建て替え見直しとなった一番の要因は。

〔村長〕しっかりとした

資金計画まで、並行して進めてきていなかったと感じている。宿泊施設をつくる場合、公的な起債が認められなかった。

村の積立金は保健体育費が1億7千万円、財調が10億9千万円あるが、12億円の資金を捻出するのに全て使うわけにはいかない。一旦立ち止まり、もう一度しっかりと見直しが必要と考えた。

〔質問〕財源等もつと村が中心になるべきでは。

〔村長〕中核となるのは商工観光課である。その中で状況を確認しながら建設委員とも協議しながら進めるべきと考えている。



小林 庄三郎

子育ての具体的支援は

答 検討委員会を設置し 進める

〔質問〕来年度からの子育て支援の具体策は。

〔村長〕子育て支援センター検討委員会を設置し、感染症は扱えないが保育園の病後児保育を計画しており、子育てをしやすい環境の整備を進める。

病気やケガなどで入院する際、近くに子どもを預かってくれる身寄りがない人に対応するため、子どもを一時預かりする子育て支援短期入所事業も考えている。

〔質問〕子育て支援の観点から、子どもの医療費の償還払い制度を窓口無料化にすべきでは。



原っこの森での子どもたち

取していないが、昭和59年より国は負担割合の減額措置を行っていて、「少子化対策の重要な施策である」という意見や「過剰受診を招いている可能性もある」との声もあるようです。

国の負担割合の減額がなくなり、今後県が窓口無料化を実施する際には原村も検討せざるを得ない状況になることと予測している。

一般質問 村政を問う

(5)



鮫島和美

〔質問〕中学生議会において「室内から菖蒲沢に至る通学路が非常に暗くて不安だ。事故防止、防犯のため、歩道側に街灯をつけてほしい」という要望が出された。住民からも「車の運転中、突然歩行者の黒い影が出てきてヒヤツとした」「せめて、主要な道路の交差する場所だけでも街灯を設置してほしい」等の声が寄せられている。村内の街灯及び防犯灯の設置状況を調査し、街灯、防犯灯を増設する必要があるのでは。

〔質問〕中学生議会において「室内から菖蒲沢に至る通学路が非常に暗くて不安だ。事故防止、防犯のため、歩道側に街灯をつけてほしい」という要望が出された。住民からも「車の運転中、突然歩行者の黒い影が出てきてヒヤツとした」「せめて、主要な道路の交差する場所だけでも街灯を設置してほしい」等の声が寄せられている。村内の街灯及び防犯灯の設置状況を調査し、街灯、防犯灯を増設する必要があるのでは。

答 街灯、防犯灯の増設を
街灯増設の計画はない

〔質問〕中学生議会において「室内から菖蒲沢に至る通学路が非常に暗くて不安だ。事故防止、防犯のため、歩道側に街灯をつけてほしい」という要望が出された。住民からも「車の運転中、突然歩行者の黒い影が出てきてヒヤツとした」「せめて、主要な道路の交差する場所だけでも街灯を設置してほしい」等の声が寄せられている。村内の街灯及び防犯灯の設置状況を調査し、街灯、防犯灯を増設する必要があるのでは。



内田章子

〔質問〕子どもたちが安心・安全に保護者の方たちと待ち合わせできる場所、過ごしやすい場所を確保することが必要である。図書館利用状況から見た子どもたちの現状をどのように捉えているのか。

答 子どもの居場所づくりの
次年度予算で可能な限り
考えつつ
検討を進めたい

〔質問〕子どもたちが安心・安全に保護者の方たちと待ち合わせできる場所、過ごしやすい場所を確保することが必要である。図書館利用状況から見た子どもたちの現状をどのように捉えているのか。



原村図書館

〔質問〕子どもたちが安心・安全に保護者の方たちと待ち合わせできる場所、過ごしやすい場所を確保することが必要である。図書館利用状況から見た子どもたちの現状をどのように捉えているのか。

一般質問 村政を問う



松下浩史

リサイクル活動団体との協働は

可能な限り

検討していきたい

(質問) ぐみ減量化への取組みは。

〔村長〕資源物の回収と生ごみ処理機等の補助金交付、剪定枝等の資源化事業として必要な方にチップの配布をしている。

(質問) 生ごみ処理の勉強会・講習会、ごみ持ち帰り運動、3Rの具体的な取組みの例示等、ごみ減量へ向けての啓発についてはどうか。
〔建設水道課長〕生ごみ処理の地域説明会・勉強会は現状やっつけいなかったと思う。3R、持ち帰り等は県や広域の取組みの中で広報的なことを行なっている。具体的なやり方・促進についてはしっかりできていない部分がある。

宴会シーズンに入る

ので、食べ残しの持ち帰りに関しての広報等は、今、準備している。

(質問) 資源物回収の機会を増やすために、村内に民間の小規模資源物回収施設を誘致する

考えはあるか。
〔村長〕公的なリサイクルセンターに関しては、諏訪南行政事務組合の方で平成32年の稼働を目指して計画があるが、民間に関しては、業者へのアプローチはしていない。今後検討課題として、担当課のほうで検討を進めるように指示はしたい。

(質問) 多治見市に再資源化できる不要食器を送る等、交換会を通じて、リサイクル・リ

ユースに取組む活動をしている団体がある。

長野県では同様の活動をしている多くの団体と行政が協働しているが、原村はどうか。

〔村長〕バザーや交換会は消費者の会で活発にやっていると聞いています。懇談会の中で、保管する場所の確保ができませんかという話もあり、来年度に向けて可能な限り検討していきたい。多治見市の不要食器資源化は報道では知っていますが、原村の団体の関わりは把握していません。若干の時間をいただき、実際の動きを少し研究させていただきます。

資源化できる不要食器を送る等、交換会を通じて、リサイクル・リ



永井和人

樫の木荘の建設について

現時点では

話し合っていない

(質問) 樫の木荘の建設について、建設委員会の中に施設の細部について、具体的に検討する分科会を設けてはどうか。

〔村長〕今後事業が進展する中で分科会が必要かどうか、建設委員会と協議し、進めていくが現時点では話し合っていない。

(質問) 樫の木荘の建設資金の調達に公募債は、〔村長〕起債する場合、国や県との協議が必要である。国の公募債の対象は防災や福祉、教育施設などで地域住民の事業への参加意識が高まる事業への充当が望ましいとされている。宿泊や、宴会のできる施設は民間の資金に

より、建設されるべきであり、公募債は適さないと考えます。

(質問) 防災無線の屋外スピーカー設置について。

災害などの緊急発生時に防災無線の屋外スピーカーは、有線放送と共に全村一斉に情報を伝達する手段として有効だと思えますが、設置する考えは。

〔村長〕屋外で働いている村民への広報手段として有効と考える。しかし一方では、豪雨の時に雨音が大きく屋外スピーカーの放送が全く聞こえないという事例もある。市町村防災無線は早期にデジタル化に移行

することとされている。設置するには多額の費用がかかる。

(質問) 農業の農繁期は多くの人が野良の農作業に出ている。有線放送の入っていない地区

もあり情報を共有する事は大事である。いますぐできないとしても将来の展望は。

〔村長〕昨年3ヶ所で実証実験を行った。設置の可否について検討している。



防災屋外スピーカー

一般質問 村政を問う

(7)



阿部 泰和

〔質問〕今年度よりALTを2名に増やしての英語教育が小中学校で実施されているが、その成果は。

〔教育長〕平成32年から小学校5・6年で英語が教科化される。今

までも国際交流クラブをはじめとするいろいろな方々の協力に支えられ、レベルの高い英語活動を展開してきた。質の高いALTを得て小学校の先生の意識改革ができ、32年度につながる成果はある。時間の取り方など大変だが教育委員会もバックアップをしていきたい。

〔質問〕移住促進の面からも特色ある英語教育を展開しては。

〔村長〕レシピア方式の取

縦の木荘の

インバウンド対応は

海外に出向いて

村の情報提供を実施

り入れや、国際交流クラブから18名の方に学校にかかわっていただき、夏休み研修会も実施。プケコへの交流も19年。更なる展開も検討していきたい。

〔質問〕木々の成長とともに木障切りをすべき箇所が増えてきている。美しい村としても行政指導を行うべきでは。

〔村長〕以前、支障木の関連では行政区で広報活動をしていたが、最近は啓発不足。来年度の行政嘱託員会議の中で広報活動を進めていきたい。

〔質問〕景観保全関連の団体設立などで支障木対策として補助金活用

の考えは。

〔村長〕現時点では公費対応は考えていない。

〔質問〕縦の木荘の今後について、インバウンド対応は建替えにあたっての重要事項と考えるが。

〔村長〕インバウンドは伸びてきている。村の観光PR活動は担当が、台湾・タイに出向いて情報提供をしている。

〔質問〕長期展望ではインバウンドが宿泊施設運営のカギを握っている、とされているが。

〔村長〕国のビッグデータを、村として体制を整えて分析を図る。素晴らしいビッグデータがあることは理解しているのでもっと勉強していく。



宮坂 早苗

〔質問〕コミュニティースクール（学校運営協議会制度）とは、学校や保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い学校運営に意見を反映させるという制度。

長野県では、学校と地域住民の協働による開かれた学校づくりを目指すとした「信州型コミュニティースクール」を構築している。

県内67.6%の学校の導入実績がある。諏訪市が、11校、富士見町も導入準備が進められている。子どもの教育環境、生活環境を整えることは、地域社会が持続できる地域力をつけることだと考える。導入の考えは。

〔教育長〕原村は、1村

コミュニティースクールの

導入の考えは

小・中創立以来コミュニティースクールだと思っている

1校。創立以来からコミュニティースクールだと思っている。全国的に取り組んでいるのは、9%くらい。

教育委員会は、学校長に全てを託している。

教育は、信頼である。報告書や不要な会議に費やす時間を少なくし、子どもたちと向き合う時間を多くするようにしている。ボランティアの連携につながっていないところはある。

〔質問〕子どもたちの要望に「学習室」という言葉が出てくる。中学校に自主学習室設置を。

〔村長〕現在、学習室として、3室確保している。

〔質問〕原村振興公社は、使用料をいただく施設として、管理されていない。外部評価はどこが行うか。

〔村長〕経営は、シノハラ税理士、業務等は、理事会が行う。



富士見町
信州型コミュニティ
スクール導入準備
「夕学」の取り組み

一般質問 村政を問う



矢島昌彦

答 来年度は引き上げません
**老人医療給付支給年齢を
 引き上げしますか**

〔質問〕昨年12月議会では、老人医療給付支給年齢を65歳から66歳に引き上げました。

70歳まで毎年1歳ずつ引き上げるとしていましたが。

〔村長〕いろんな方からご意見をいただく中で、毎年引き上げるのを方向転換しました。

検討委員会に70歳という大前提のもと、村民の一番納得いく引き上げ方の検討をして頂いています。

〔質問〕総合計画の観光を中心にした産業連携はどう進めるか。森林を活用した観光振興やWiFiの屋外利用を可能にすべきでは。

伐し、こぶしと桜を植えた所の整備は必要。八ヶ岳の見えるビューポイントは観光資源になる。列状間伐などで検討します。屋外WiFiは観光振興策として必要です。検討します。

〔質問〕樫の木荘は原村観光のブランドです。農産物加工品開発、直売所は将来を占う村の重点施策です。樫の木荘建て替え、加工所建設は庁内に調査チームを立上げ、調査費を付けて、実現に向け検討すべきでは。

〔村長〕樫の木荘は今の建物がどこまで使えるか診断します。加工所は平成30年に向けて整備を進めます。いざ真剣に考えます。

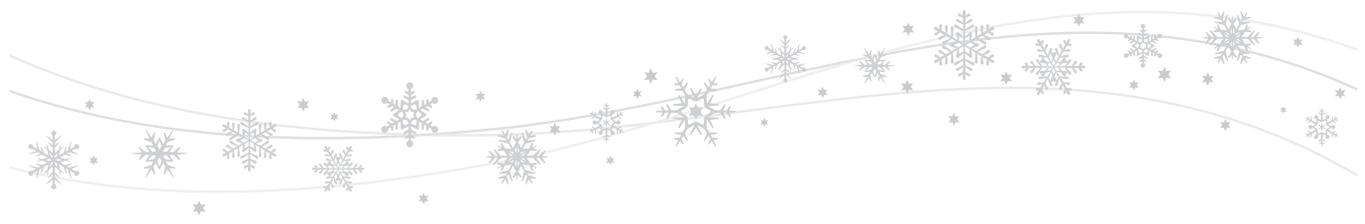
議長交際費

平成28年1月から12月

期 日	金額(円)	内 容
1月15日	5,000	諏訪消防協会新年会
1月17日	6,000	諏訪圏青年会議所新年会
1月28日	10,000	青木下諏訪町長 ご尊父様葬儀
2月12日	15,000	諏訪地方議会正副議長懇談会
2月24日	10,000	「日本で最も美しい村」連合交流会
4月 3日	10,000	上社御柱祭山出し 木落とし観覧
4月 9日	10,000	下社御柱祭山出し 木落とし観覧
7月12日	3,000	原水爆禁止国民平和大行進
8月27日	5,000	日本青年会議所 第47回長野ブロック大会
10月29日	5,000	富士見高原病院創立90周年記念式典
11月19日	5,000	原村商工会青年部結成五十周年記念式典

議会の傍聴に お出かけください

次回(平成29年2月)の定例会は2月27日(月)開会の予定です。
 お問い合わせは、議会事務局に(0266-79-7951)



中学生 議会

11月17日第17回中学生議会が開 催された。

三年生6名が質問に立ち、両角亮哉さん、宮坂琴乃さん、2名が議長を務めた。

議長感想

三年一組 両角 亮哉

僕は中学生議会で議長を務めさせて頂きました。当日を迎えるまでは議会がどのような場かは解かりませんが、期待感でいっぱいでした。実際は学校で例えると生徒会の様なものでした。原村議会は村民のために何をすれば良いかを話し合う場でした。村民の代表として選ばれた議員の方々が村民のために話し合いをしていて、それが解かりました。議員の皆さんの返答は、ただ言い返すだけではなく、過去の例や現状などを述べ、解かりやすく説明され

三年二組 宮坂 琴乃

私は、普段できない貴重な中学生議会という場で自分達の村のことをしっかりとみつめて考えることができました。村議員の方々は、私達中学生の一つ一つの意見について詳しく調べて、中学校側のことまで考えた返答をしてくださいました。これからの学校生活で何かの意見に返答するよい機会があれば、私も議員の方々のように、相手側のことも考えて答えるようにしたいと思います。

また、一つの意見に対して、多くの資料だ

ていました。十八才になれば選挙権が与えられます。まずはこの一票を大切に、投票をするところから政治に参加していきたいと思います。

私も議員の方々のように、村に少しでも役立つ事を何かやりたいと思いました。

中学生議会開催の目的

公民的分野「地方自治と住民の権利」の単位の学習として、地方議会の疑似体験を通じて、地方自治に関心と理解を深める。

質問件名・発言議員

◎上室内信号機について

伊藤 瑠菜

◎小中学生が利用しやすくなる図書館について

細川 知里

◎中学校の中庭の整備について

清水 帆乃香

◎図書館の改修について

宮坂 彩水

◎指定通学路の県道195号線歩道側への街灯設置について

行田 優那

◎原村の雪の有効活用について

五味 凜一



開かれた議会にむけて

11月16日、21日の両日、議会報告・懇談会を、大久保区、室内区の各公民館で開催しました。9月定例会（27年度決算）の報告、各地区・村の課題について意見交換を行い多くの貴重なご意見をいただきました。主なご意見等、ご紹介いたします。

議会に関するご意見

○議会改革の内容について説明を。

答 議員定数、報酬、常任委員会、IT化、ICT化の検討。休日議会・夜間議会開催についても検討している。できるところから、取り組んでいく。

○樫の木荘建設については、議会の責任と権限に期待する。

村政全体に関するご意見・ご要望

総務課

○避難所運営・防災検討の場に女性の意見の取入れを考えてほしい。

○行方不明者などの緊急時、防災無線活用を考えてほしい。

○条例改正時、現場の意見を聴くことが必要ではないか。

○職員の機密情報保持意識の徹底を。

保健福祉課

○老人医療費給付について、条例改正時、住民への説明不足のご指摘。

○高額治療薬の普及における国保会計の今後の赤字額について、今後の運営状況は。

答 平成30年度、村から県に保険者が移行する予定。現在繰越金残高が1億166万円あり、単年度赤字の補填を行っている。高額治療薬は、今後価格が下がる見込み。



商工観光課

○樫の木荘建設見直しについてのご意見

・財源がないよりも、どのように運営していくの方が大事である。

・人口が減っていく中で借金をして建設する価値があるのか。

・委員の公募、建築専門家は入っているか。

答 樫の木荘は公的な起債が認められず、オリンピックによる資材費高騰も見込まれる。耐震診断をして、規模縮小を含めて見直しをしていく。委員、委員会構成は、条例で決まっている。

建設水道課

○弓振川護岸の安全性確認を。

答 護岸は崩れていないが、川床が下がり、普段見えていない部分が見えている。

○住宅が増えていく中、子どもたちの通学路も増えていく。住民のことを考えた除雪区域見直しを。

答 平成26年2月の大雪後、除雪基準、範囲の見直しを行っている。新しい住宅が増えている中、再度見直しを要望していく。

教育課

○村の行事で使用する地区公園・農村広場の管理費について、各施設で補助内容に違いがある。平等な補助を考えて欲しい。

○屋内ゲートボール場の駐車場の拡幅を考えて欲しい。

いただいたご意見ご要望は、担当課へお伝えし、村政、議会活動に反映していきます。

編集委員会
委員長 宮坂早苗
副委員長 松下浩史
委員 阿部泰和
委員 内田章子
委員 永井和人

10〜12億円かかるとされる建て替え資金の公的な起債ができないことが理由で、樫の木荘の建設計画は「一旦立ち止まる」こととなった。今後は、耐震診断を行ったうえで、耐震補強や規模縮小での建て替え等、あらゆる可能性を視野に入れての検討となる。

西年の今年、樫の木荘に関しては、大きく羽ばたく年とならず残念だが、皆に愛される施設の検討を立ち止まることなく進めていただきたいと切に願う。

(松下記)

編集後記